

あいう屋(のたより)

2月 

発行責任者

西川 晃二

【校長室より】

悲しきかな 受験生……の親

2月「逃げ月」なれど、学校では様々な行事がありました。推薦入試、離島留学入試、准看護師資格試験、そして、駅伝新人戦、マラソン大会(1/31実施)、スポコ修学旅行(スキー研修)、国体剣道リハーサル大会、小学校ボランティア体験などなど。生徒達は場面場面で一生懸命に取り組んでくれました。また、保護者の皆様にも、マラソン大会の炊き出しなど、教員だけでは果たせないことにご協力頂き感謝の思いで一杯です。

さらに2月16日には大阪石城会総会が行われました。全国(五島)石城会吉野会長とともに出席させて頂いたわけですが、同窓生の強いつながりと、五島出身の皆様の固い絆に昨年と同様に感動し、翻って五島高校を、五島を愛する皆様の思いに心えなければならぬと、思いを新たにさせて頂いたところです。

さて、新年早々から受験生を持つ親は気の休まることがないかと思います。苛立つ子どもの姿を見ても、何もしてやれぬ辛さは経験をしてみない親でなければわからないものです。特に母親ともなれば、その苦悩度は父親の比ではありません。お腹を痛めて産んだ子です。できれば、代わってあげたいと思ったことでしょう。この2ヶ月間は悲喜こもごもの場面が各家庭で演じられたことと思います。様々なドラマがあったはずで、1月のセンター試験、自己採点、その後の出願校選び。それが済めば個別試験対応と、子ども達は長く苦しい戦いを耐えています。そして前期試験の受験。あつという間の2ヶ月間でした。

私事ではありますが、私にもかつてドラマがありました。長年、進学校で学年主任や進路主任を経験してきた自分でしたが、いざ自分の子の進路指導となると全くかたなしでした。センター試験後の受験校選びで、我が子に対し、果たして親としてこれで良かったのだろうかという場面を迎えたのです。冷徹に数字を見ての判断を下す教師としての自分と、親として子どもに期待を抱く自分との狭間で、つい前者の立場にこだわり、娘に対してしまいました。結果、「学校の先生は自分の背中を押してくれるのに、お父さんはその逆しかしない。お父さんは受験のことを全く知らない。」と娘に泣かれてしまったのです。これには実際参りました。父親失格だと私自身随分落ち込んだものです。それ以来しっくりこない親子関係でいます。いや「しっくりこない」は言い過ぎかもしれません。どちらかといえば親子の力関係の逆転が生じたように思います。しかし、あの時の経験があったからこそ、自分自身「子離れ」がなされたのではないかと今では思っています。娘には反抗期がありませんでした。少なくとも父親に対してはその姿は見せていませんでした。(実際はあったのかもしれませんが。娘が中学1年生の時からずっと単身赴任の父親でしたから知らなかったかもしれませんが。)また、娘とのあの経験を経た今だからこそ、やっと受験指導ができるのではないかと感じるようになってきました。

若い頃は数字にこだわっていました。それが、生徒のためになる、保護者のためになると信じて疑いませんでした。合格の二文字と不合格の三文字とは全く違う。浪人生活を体験した自分の辛さを味あわせたくない。合格させる道を示してやるのがまず大事だという強い思いでいました。それが保護者の満足につながり、生徒の幸せにつながると。確かに、そのような生徒も保護者も多数いました。今でも、大多数であったらと思います。しかし、幾人かはそうではなかったかもしれません。難しいことです。進路指導が大学選びだけで完結するなどと思っているようでは教師失格です。人生の師となり、道標となることができるためには、日暮れてまだまだ道遠き自分であることに暗澹とさせられます。

3月1日は、五島高等学校の第66回(衛生看護科39回)卒業証書授与式が挙行されます。卒業式に際し、卒業していく3年生、そして1、2年の在校生に「道標(みちしるべ)」を示すことができればと思っていますが、果たして浅学の自分にできるであろうか。

スポーツコース第9期生「卒業発表会」1月29日(水)

1月29日(水)に、五島高校普通科スポーツコース第9期生の卒業発表会を、本校軽スポーツ場にて開催しました。最初に西川校長からは来賓・保護者の御来席に対するお礼、そして、五島市教育委員会の島博則先生からご挨拶と発表への期待の言葉がありました。

3年6組スポーツコース生12名が4班に分かれ、3年間の専門科目に関する学習の集大成として、1班は「正しいテーピングとその効果」、2班は「筋肉と栄養摂取の関係」、3班は「ウォーミングアップの重要性」、そして4班は「柔軟の効果と必要性」についてプレゼンテーションソフトを用いて発表を行いました。発表後には1、2年生や来場の先生方から質問もあり、発表者が丁寧に答ええていました。

堂々と発表する姿に3年間の成長ぶりがみられ、クラスメイトで互いに協力し合い実験や研究を進めてきた成果を見ることができました。

県教育庁体育保健課の松尾先生から指導助言をいただき、また今後のスポーツのあり方についてのプレゼンテーションもしていただきました。

御多用な中、来賓、スポーツコース保護者の皆様、本校職員など多くの方々に御参観いただいたことに対しまして感謝いたします。本当にありがとうございました。



スポーツコース百人一首大会 1月30日(木)

1月30日(木)五島高校セミナーハウスにてスポーツコース百人一首大会が開催されました。1年6組13名、2年6組13名、3年6組13名が参加して、かるたの腕前を競い合いました。

2試合を行った結果、優勝は3年生、2位は1年生、3位が2年生となりました。スポーツに励む普段の姿とは、違った様子が見られ、文化に触れる良い機会となりました。



校内マラソン大会 1月31日(金)

1月31日(金)に校内マラソン大会(男子10km、女子6km)を実施しました。例年の寒さとは異なり、今年は快晴でとても暖かい天候の中で競技を行うことができました。大きな事故もなく大会が終わったことにひと安心しております。

この大会に向けて12月・1月の体育の授業で走り込みを続けてきました。本番当日も全ての生徒が力を精一杯出し切っていました。大粒の汗をかきながら一生懸命に走るすがすがしい姿や練習を通して成長する姿が大会中に見られたことが印象的でした。

持久走・マラソン大会で走る姿を見ていると、その人間性が強く浮き出てきます。是非、自分の走りを振り返り、自己評価をしてください。ひとつの行事を通して、五高生がたくましく成長していくことを私たちは望んでいます。

マラソン大会炊き出し

1月31日(金)の校内マラソン大会後、保護者の方々が豚汁の炊き出しをしてくださいました。進路対策委員長の橋詰様を中心に、今年度も多くの保護者の方々に前日の準備・当日の給仕へご協力いただきました。温かい笑顔での炊き出しに、走り終えた1・2年生と受験勉強を頑張っている3年生は大いにパワーをもらい、これからの励みとなりました。協力していただいた保護者の方々におかれましては、わざわざ時間を割いておいていただき、本当に感謝しております。ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。



個人成績(男子) 1位 松本凜太郎(1-5) 2位 阿野勇之介(2-2) 3位 出口 勇太(1-3)

個人成績(女子) 1位 石田 佳那(1-4) 2位 山下 千尋(2-1) 3位 安永 百花(1-2)

団体成績 1位 1年5組 2位 1年4組 3位 2年2組

長崎国体剣道リハーサル大会 2月8日(土)、9日(日)

2月8日(土)9日(日)、五島市中央体育館において、国体のリハーサル大会として九州高等学校選抜剣道大会が開催されました。五島高校1学年の生徒みなさんが補助員等で大活躍していただき、大会は何事もなく終了することができました。

普段、剣道という競技に触れることの少ない生徒が、一週間前の1月31日(金)午後から準備を行い、大会前日の7日(金)のリハーサルから長い時間にもかかわらず、真剣に取り組んでくれる姿は非常に頼もしく、多くの競技役員の先生方、剣道協会の方からお褒めの言葉を頂きました。

まさに、支えるスポーツとして参画してもらったと感謝しています。大会終了翌日には、五島市の教育長や剣道協会の方からも学校に来校を頂き、直接お礼の言葉を頂きました。生徒のみなさん本当にお疲れ様でした。



スポーツコース

2年生修学旅行（スキーコース）2月11日（火）～14日（金）

2月11日（火）～14日（金）にスポーツコース（6組）の修学旅行を実施しました。当初の計画は、ジェットfoilで福江港を出発予定でしたが、海上時化のためフェリーに変更されました。広島までのバス移動は、各班で出し物を準備して楽しい時間を過ごしました。広島に到着してからは、本場の**広島風お好み焼き**を堪能しました。

スキー研修は2日間で計12時間、みっちり活動しました。ほとんどの生徒が、スキーを初めて経験するので不安でした。しかし、インストラクターの方のご指導のもと、みるみるうちに上達し、自由自在にスキー板を操る姿が、スキー研修初日から見られました。こわばっていた表情も、時間が経過するにしたがい笑顔になりました。風を感じながら、雪山を滑る姿から爽快感が伝わってきました。



また、最終日は福岡に移動し、**太宰府天満宮**と**キャナルシティ福岡**で班別研修を実施しました。短時間でしたが、事前に計画立案し自主的に行動しました。

6組だけの修学旅行で少ない人数でしたが、改めてクラスメートの個性を発見できる機会となりました。今年度は学年団全部での修学旅行ではありませんでした。これらの行事を通して2年生の生徒諸君が「**自分で気付いて行動する**」ことができつつあるのが嬉しいです。



衛生看護科

准看護師資格試験出陣式

2月13日（木）

2月13日（木）衛生看護科講義室において准看護師資格試験出陣式が行われ、3年生20人が改めて明日の出陣に向け気持ちを新たにしました。学年主任村田先生からは集中して普段通りの力を出すこと！進路主任中野先生からは今までの経験が後押しをしてくれるはず！衛生看護科久本先生からは努力した自分、支えあった仲間を信じて！等多くの激励の言葉をいただきました。**生徒代表の垣添絵理香さんは、「多くの方に感謝し、先輩方の8年連続合格を絶やさぬようしっかりと頑張ってきます」と誓いの言葉を述べました。**今まで多くの先生方そして家族、患者様に支えられ今の自分がいることに感謝をすると共に、**夢への第一歩となる資格試験合格へ向け、20人の気持ちを一つにするのできた感動的な出陣式**となり、生徒にとって大きな励みとなりました。今まで多くの応援をいただき、本当にありがとうございました。

准看護師資格試験を終えて 2月14日（金）

2月14日（金）に衛生看護科3年生20人は、准看護師資格試験を受験してきました。前日には出陣式をしていただき、当日は多くの生徒そして先生方に見送られ感謝の気持ちを胸に出発しました。会場内では緊張した表情で、最後の最後まで今まで共に頑張ってきた参考書を見直す生徒の姿に、資格試験に対する意気込みを強く感じることができました。生徒達はこの資格試験へ合格するために三年間多くの事を経験し、そして学びを積んできました。試験が終わった今は、この学びが20人全員の合格へ繋がることを祈るだけです。そして卒業を前にして、この三年間努力してきた自分、共に頑張った仲間を誇りに思い、更なる未来を切り開いて欲しい、そして20人それぞれが自分の夢実現にむけ精一杯、頑張っ

て欲しいと強く願っています。最後に、今回の准看護師資格試験受験にあたり今までご指導、ご支援いただいた多くの方々に深く感謝いたします。ありがとうございました。

ボランティア

小学校への高校生助手ボランティア

今年で6回目を迎える小学校ボランティア事業は、五島市教育委員会と島内各小学校の先生方のご協力・ご指導により、今年度も下記のとおり実施させていただきました。

- 趣 旨 母校の小学校で教員の助手として活動することによって、ボランティア精神や勤労観、社会性を養うとともに郷土を愛する心を育てる。
- 対象生徒 五島高校3年生の進路が決定した生徒で、小学校ボランティアを希望し、さらに本校校長が推薦した生徒8名
- 活動期間 2月3日（月）～2月21日（金）で（登校日を除く）
- 活動場所 （福江・緑丘・本山・崎山・奥浦・川原）小学校
- 活動内容 読み聞かせ、給食補助、昼休みの交流、校庭整備など
- 担当者所感 各小学校を訪問し、生徒たちの活動状況を拝見させていただきました。どの生徒たちも、母校での元気いっぱいの後輩との交流や小学校の先生方の授業に入り、緊張しながらも児童への支援を行い、とても充実した表情を浮かべていました。今後、生徒たちは、島を離れての生活が始まりますが、後輩たちの純粋な心と常に全力投球の姿を思い浮かべながら、新天地で粘り強く生活するものと確信しております。



長崎県高等学校新人体育大会 駅伝競技 2月8日(土) 女子8位、男子22位

開会式終了後、全員で円陣を組み、気合十分でレースに臨んでいました。女子のレースは、2区の順位でその日の結果が見えます。強豪勢が走り去る中、五島高校は、目標の一桁順位で第2中継所を通過することができました。最終走者は選手唯一の2年生で、プレッシャーもある中、最後まで頑張ってくれました。男子のレースは、思っていたようなレース展開ができず、悔しかったようですが、その思いを忘れず、来年さらに強くなって臨んでほしいです。レース時に強風が吹き荒れる中、選手とマネージャーが周回コースやその沿道を走り抜ける姿からは、それぞれの役目を懸命に果たそうという強い意志が感じられ、とても感動しました。「**チームのために**」それが全員の力になるんですね。

【生徒感想】(2年3組27番 山中里桜)

私達は、2月8日に行われた新人駅伝大会に、五島高校の代表として出場してきました。今年は1年生が多いチームでしたが、女子は目標としていた10位以内入賞を達成することができました。また、男子は出場校が多く、厳しい結果となりましたが、**全員が必死に襷を繋いでいる姿**が心に残りました。来年は、今年の順位を上回れるように男女とも頑張りたいです。

これからは、高総体に向けお互い切磋琢磨し、日々前進していきたいと思います。

部活動生集会 2月17日(月)

2月17日(月)7時30分に、今年度最後となる部活動生集会が行われました。まず、**文化部代表の吹奏楽部長・出口知絵さん**が、今年度の文化部の反省と来年度への抱負を話してくれました。そして、どの部もまずは短期目標をしっかりと掲げ、達成し、自分たちの成長を感じられるような充実した活動を行っていきましょうと呼びかけました。次に、**体育部代表の卓球部キャプテン・藤原拓道くん**が、春季大会への抱負に加え学年末考査についても触れ、自身の体験も交えながら文武両道の大切さを話してくれました。凡事徹底を努め、今できることを最大限に行いましょうと熱く語ってくれました。部長を中心に、各部の今年度の反省を生かし、新しい年度と新入部員を迎えてほしいと思います。

第36回 全国高校(柔道)選手権大会

- 日 時 平成26年3月20日(木) 9:20試合開始
- 場 所 日本武道館(東京)
- 内 容 柔道の「高校日本一」を決定する大会
- 生 徒 下村 真 洋 (五島高校2年スポーツコース)
- 階 級 60kg以下級(長崎県代表)
- 得意技 内股・背負投
- 顧問 得意技の「内股」は、キレがあり重量級も容易に投げるほど威力があります。



1月の長崎県予選の決勝戦では、昨年11月に九州新人大会で優勝した村上選手(長崎東高校)を果敢に攻め続け、得意の「内股」でポイントを奪い、全国大会の切符を手に入れました。努力家でもあり、学校での練習以外に個人的にトレーニングジムに通い、着実に力を付けているため3月20日の「高校日本一」を決定する、全国大会での活躍を大いに期待しています。

下村選手に突撃インタビュー!!!

- Q.1 どのような気持ちで長崎県大会にのぞみましたか?
一戦一戦全力で勝つことだけを考えて試合にのぞみました。
- Q.2 これまで競技力向上のために努力をしてきたことを教えてください。
部活動の練習以外に1時間半くらいジムでトレーニングをしていました。
- Q.3 長崎県大会決勝で勝ったときはどのような気持ちでしたか?
10年間柔道を続けてきて優勝をしたことがなかったので、勝ったときは信じられませんでした。
- Q.4 全国大会への意気込み・抱負を教えてください。
全国大会では攻めの柔道で、一戦一戦全力で挑みたいと思います。そして、他の強い選手の試合を見て技術面や精神面などさまざまなことを学び、これからの競技につなげていきたいと思っています。一勝でも多く勝てるようにがんばって来ますので、応援よろしくお願いします。



♪第27回吹奏楽部定期演奏会のお知らせ♪

日時:平成26.3.22(土) 13:00~開場 13:30~開演 場所:福江文化会館 大ホール 入場無料

第1部:吹奏楽ステージ(2014年度全国吹奏楽コンクール課題曲 ほか)

第2部:アラカルトステージ(スパイ大作戦のテーマ ほか)

第3部:ポップスステージ(OMENS OF LOVE ほか)

第4部:蒼き故郷、旅立ちの日に ほか(1年音楽選択者も参加します)

楽しいステージを用意していますので、是非お越しください。皆様のご来場、お待ちしております。

